

大阪弁護士会 日本国憲法施行60周年記念シンポジウム

イラクから見た日本

国会はいま、「テロ特措法」の延長問題で揺れています。先日、同法に基づいてインド洋に派遣されている海上自衛隊が給油等で支援する米艦船が、アフガニスタンのみならずイラクやアフリカ・ソマリアへの攻撃に参加した疑いが報道されています。憲法で、二度と戦争をしないと誓った私たちの国は、いま大きな岐路に立たされています。

本会では、憲法改正問題に関して、国民投票法案、個別・集団的自衛権、アジアから見た日本、などのテーマで市民集会を開催してきました。憲法施行60周年にあたる今回は、自衛隊がイラクとの関係でどのような活動を行っているのか、イラクの人々が自衛隊や日本をどのように見ているのかといった点を中心に、フリージャーナリストの綿井健陽氏にビデオを交えて紹介していただきながら一緒に憲法改正問題を考える記念シンポジウムを開催します。

本会会員のみなさんはもとより、多数の市民のみなさんのご参加をお待ちしています(入場無料)。

綿井 健陽(わたい たけはる)

1971年大阪府出身。日本大学芸術学部放送学科卒業後、97年よりジャーナリスト活動。98年より「アジアプレス・インターナショナル」に所属。

これまでに、スリランカ民族紛争、パプアニューギニア津波被害、スーダン飢餓、東ティモール独立紛争、マルク諸島(インドネシア)宗教抗争、米国同時多発テロ事件後アフガニスタンなどを取材。03～04年にかけては空爆下のバグダッドやサマワから、「ニュースステーション」「報道ステーション」「筑紫哲也 ニュース23」などで映像報告・中継リポートを行う。

ドキュメンタリー映画「Little Birds～イラク 戦火の家族たち」は、05年「ロカルノ国際映画祭」人権部門・最優秀賞を受賞。著書に「リトルバーズ 戦火のバグダッドから」(晶文社)など。

ホームページ【綿井健陽Web Journal】<http://www1.odn.ne.jp/watai/>、ブログ【綿井健陽のチクチク PRESS】<http://blog.so-net.ne.jp/watai/> などでも精力的に情報発信している。

JVJA(日本ビジュアル・ジャーナリスト協会)会員、アジア記者クラブ会員。

03年度「ボーン・上田記念国際記者賞」特別賞、03年度「ギャラクシー賞」報道活動部門優秀賞、05年「JCL(日本ジャーナリスト会議)賞」大賞等受賞。



日時 2007年10月12日(金)

開場:午後6時、開会:午後6時30分、終了予定:午後8時30分

場所 大阪弁護士会館2階ホール

(最寄駅:地下鉄御堂筋線「淀屋橋」駅、谷町線「南森町」駅、
堺筋線「北浜」駅下車)

主催 大阪弁護士会

(連絡先) 大阪弁護士会委員会担当室(岡本) TEL:06-6364-1227

